◆◆◆ よくある質問と答え ◆◆◆

エントリー

Q　参加費の返金は？

A　参加誓約書に記載があるように、自己都合による不参加または主催者の責めによらない理由（気象状況の悪化や天災、新型インフルエンザ等の感染症の流行等）により、競技が中止になった場合、参加費は返金されません。

Q　応募資格を教えてください。

A　①　大会当日 18 歳以上で、健康な方。
②　トライアスロン競技の基礎知識を有し、完走できる体力を有する方。
③　主催者から参加許可決定通知を交付された方。
④　（公社）日本トライアスロン協会（JTU）競技規則を遵守できる方。
上記４つの項目を満たす方となっております。

Q　JTU 登録をしていないのですが、大会に参加できますか？

A　はい、JTU 登録がなくてもご参加いただけます。出来るだけ多くの方に参加していただきたいので、登録制限はございません。 ※登録番号をお持ちの方は記入してください。

Q　JTU 登録をしたいのですが、どこに相談すればよいでしょうか？

A　各都道府県の JTU 加盟団体（岡山県では一般社団法人岡山県トライアスロン協会（TEL:090-5373-8866）までお問合せください。（※参照　http://www.jtu.or.jp/shop/customer/guidance.aspx?evcode=3323）

Q　障がいの有無について

A　トライアスロン競技の基礎知識・体力を有し、完走できる能力を有していれば可能です。また、トライアスロン競技では助力は禁止されていますが、本大会ではリレー部門のラン競技での「伴走者」のみ同伴を認めます。その場合「伴走者」の方にも専用のレースナンバーを付けていただきます。事前に申し出てください。

Q　受付がちゃんとできているか、確認したいときは？

A　大会事務局までご連絡ください。確認いたします。なお確認に時間を要する場合がありますのであらかじめご了承ください。

競技に関する質問

Q　競技距離を教えてください。

A　スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km、合計距離 51.5km の、スタンダードディスタンスを採用しています。

Q　スタンダードディスタンス　個人の部・リレーの部とは？

A　個人の部は、3 種目を同一選手が連続して行い、リレーの部は 1 人 1 種目ずつ（3 人で 3 種目）をリレー方式で行います。

Q　競技開始時間と終了時間は？

A　競技開始時間は 7 時 51 分、 競技終了時間は 12 時です。

Q　制限時間を越えた場合はどうなりますか？

A　各競技の制限時刻は、スイムは 8 時 50 分まで、バイクは 11 時まで、ランは 12 時までです。
制限時間を超過した場合は、マーシャルが競技を中止し、DNF（途中棄権）とします。ただし、リレー部門で制限時間内にフィニッシュできない場合、次走者は繰り上げスタートを実施しますが、チーム記録は残りません。

Q　競技規則、ローカルルールを教えてください。

A　詳細な内容は、参加許可決定通知書、大会プログラムに掲載しますので、ご確認お願いします。

Q　前空きユニフォームは使用できますか。

A　JTU 規則に準じ、フロントジッパーのユニフォームは着用可能です。詳細は、JTU のホームページをご覧ください。
https://www.jtu.or.jp/news/2023/01/30/47913/

Q　ユニフォームとありますが、具体的にどのウェアが対象になりますか？

A　競技中に着用するウェアで、トライスーツ、バイクジャージが対象です。ウェットスーツは対象外です。

Q　一般的なウェットスーツ、ロードレーサータイプの自転車とありますが、具体的にはどのような形でしょうか？マウンテンバイクやクロスバイクでの参加は認められませんか？

A　日本トライアスロン連合（JTU）のホームページ内に「JTU 公式ルールブック２０１９」が掲載されていますので参考にしてください。http://www.archive.jtu.or.jp/stu/pdf/rulebook_20190123.pdf
また、マウンテンバイクやクロスバイクでの参加は認められません。

競技に関する詳しい質問に関しては、
「一般社団法人岡山県トライアスロン協会」へお問合せください。

Email：okym-tri@mx35.tiki.ne.jp

大会全般について

Q　初心者講習会は事前の申し込みが必要ですか？

A　申し込み等は不要です。無料で参加することができます。
（場所：児島ボートレース場スタンド棟１階イベントホール　／　日時：９月９日(土)　16:00～17:00）

Q　９月９日の選手登録と９月１０日の最終選手登録の違いについて教えてください。

A　両日とも必須です。９日は選手受付、コース下見受付、１０日は最終選手受付とアンクルバンドを配布します。

Q　大会前日のコース下見は義務なのですか？

A　個人の部出場者及びリレーの部バイク競技の出場者に推奨しております。バイクコースの難易度が高いため、初参加の選手にはコース下見を強く推奨します。（主催者がコース下見バスを運行します。詳細は申込者に通知します。）
日時：９月９日（土）12:00～13:45

Q　主催者側は、どんな保険に加入しているのですか？

A　本大会では、選手及びボランティアスタッフに対して、傷害及び賠償責任の保険に加入しています。

Q　義務づけられている項目を遅刻、欠席した場合はどうなりますか？

A　遅刻、欠席した場合は競技に参加出来ません。

Q　都合により、出場できなくなった場合はどうすればいいですか？

A　出場できなくなった場合、大会事務局までご連絡ください。参加記念品を大会終了後に送付させていただきます。

Q　申込者の代わりに出場したいのですが？

A　参加資格を他人に譲渡することはできません。また代理者による大会出場はできません。

Q　リレーメンバーの出場種目変更は？

A　申し込み後の変更は、一切受け付けません。
出場出来ない選手が出た場合でも自分の担当競技は実施できます。但し、チーム記録は残りません。

Q　バイクを事前に送付することはできますか？また大会前日から大会当日まで保管することはできますか？

A　大会事務局による受取・保管はいたしません。各自、宿泊先にお問合せの上、対応をお願いします。

Q　同伴フィニッシュできますか？

A　同伴フィニッシュはできます。主会場フィニッシュ付近に、同伴フィニッシュ待機場所を設けています。マーシャルの指示に従ってください。

Q　主催者支給品を教えてください。

A　スイミングキャップ、レースナンバー、エイドステーションの飲み物等、参加記念品。
その他競技に必要と思われる物は、各自で持参してください。

会場

Q　主会場（児島ボートレース場）への交通手段は？

A　JR 児島駅から徒歩約 15 分、瀬戸中央自動車道児島 IC から車で約 5 分です。

Q　駐車場はありますか？

A　選手・観戦者共に、児島ボートレース場に無料駐車場があります。

Q　スタート地点、フィニッシュ地点での観戦は可能ですか？

A　可能です。ただし、コース内の立ち入りは禁止です。

宿泊

Q　宿泊申込方法は？

A　宿泊斡旋は行いませんので、各自で宿泊施設へお申込みください。

Q　車中泊はできますか？

A　車中泊はできません。

交通規制

Q　交通規制について教えてください。

A　交通規制は、９月１０日(日)6 時～１２時までの予定です。場所によって規制開始・解除時間が異なりますので、詳しくは大会ホームページをご覧ください。　※最終競技者が通過後に、交通規制を順次解除していきます。

その他

Q　「ドローン」を利用して撮影することはできますか？

A　本大会では、選手及び観客、ボランティアの安全確保のため、メイン会場（児島ボートレース場）内やコース付近での小型無人機「ドローン」の飛行は禁止とさせていただきます。

◆◆◆トライアスロンに必要な用具◆◆◆

スイム

◆ウェットスーツ　（※推奨、条件により義務）

ウェットスーツは、トライアスロン用に作られたものを使いましょう。長袖長ズボンタイプ(フルスーツ)と袖なし長ズボンタイプ(ロングジョン)の２種類が一般的です。生地の種類、厚さなど様々ありますので、ショップで相談してみてください。 本大会では、ウェットスーツの着用は、推奨としています。ただし、ＪＴＵ競技規則により水温 15.9℃以下ではウェットスーツの着用は義務となります。なお、ウェットスーツを収納する袋は各自で持参してください。

◆ゴーグル

スイム競技にはかかせない道具のひとつですが、小さいためうっかり忘れる方がいらっしゃいます。競技に集中できるよう、忘れず準備してください。度付きのゴーグルもあるので、ショップで聞いてみてください。

◆水着

「水着」と「バイクパンツ」と「ランニングパンツ」を兼ねる「トライスーツ」や「トライショーツ」がおすすめです。

バイク

◆ロードレーサー(※義務)

本大会では、ロードレーサーでの参加を義務づけています。バイク選びは、サイズ選択が重要になります。３種目の中で一番競技時間が長いので、専門ショップで身体のサイズを測定し、適切なものを選びポジションも合わせてもらいましょう。

◆硬質ヘルメット(※義務)

ヘルメットは大切な用具です。バイク競技用の硬質ヘルメットで、規格に合格したものを選んでください。

◆バイクジャージ

トライスーツ(3 種目共通使えるウエア)などをウェットスーツの下に着ない場合には、バイクジャージを着用しましょう。

◆バイクシューズ

トップ選手やベテラン選手は時短短縮のため、ペダルにシューズをつけたままスタートします。 初心者の方は無理しなくても、ランニングシューズで代用可能です。

◆サイクルコンピューター

サイクルコンピューターを付けると時間や走行距離、平均速度が表示されるので、目標タイムの参考や、自分のペースが分かります。ただし、大会での落し物が多いのでしっかり装着してください。

◆ドリンクボトル

競技時間が長く、気温が高い時期のためドリンクボトルを携帯することをおすすめします。こちらも落し物が多いので気を付けてください。

◆グローブ

転倒時に手を守るため、着用をおすすめします。

◆パンク修理セット

レース中、競技開始前など、パンクしたときのためおすすめします。もちろんパンクの修理作業ができることが前提となりますが、リタイヤにならないためにも、あらかじめ作業を身に着けておきましょう。

ラン

◆ランニングシューズ(※義務)

ランニングシューズは着地による衝撃から身体を守る用具です。専門のショップに行き、走力にあったシューズを選びましょう。バイク競技で足が疲労した状態で走るので、ソール(底)が厚いものを選ぶと足のケガを予防してくれます。

◆ランニングシャツ(T シャツ)

速乾性・通気性のいいウェアを着ましょう。また 3 種目共通で使える「トライウェア」もおすすめです。

◆帽子

通気性のよいものをかぶりましょう。熱中症を防ぐため、かぶることをおすすめします。

◆時計

目標タイムの参考になります。

その他

◆サングラス

日差しの強い時期なので、眼を守るために着用をおすすめします。

◆タオル

スイム競技の後、バイクシューズまたはランニングシューズに履き替えるとき、足についた砂を払い除けるのに便利です。

◆レースナンバーベルト

レースナンバーを、そのまま服に安全ピンなどで止めてもＯＫですが、着替えるときに便利で、大切なウェアに穴を開けずにすみます。

◆サンダル

大会当日、受付やバイクの設置など準備の間、着脱の便利なサンダルをおすすめします。

◆ワセリン

ウェットスーツの擦れで肌を傷めることがよくあります。その擦れを防止するのにワセリンがおススメです。よく動かす肩のまわりや脇、首のまわりに塗りましょう。事前にウェットスーツを着用して、擦れるところを確認しておきましょう。また、靴擦れを起こさないために、ランニング時に履くソックスにも塗る方もいるとか。